

安全就業だより第268号

安全就業対策委員会

令和5年8月10日発行

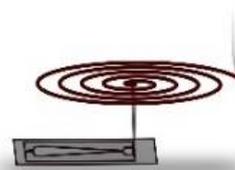
暑中お見舞い申し上げます。

熱中症の発生は、7～9月がピークです。急に暑くなった日は危険性大。こまめに水分補給を行い、体調管理に十分気を配りましょう。

また、植木・除草等の屋外での作業は、お盆の期間、休みになっていることと思います。お盆休みが終わり作業を再開する時は、休んでいた分、体が暑さに慣れていないことも考えられます。

作業を再開するときは暑さに十分体を慣らし、ヘルメット等の安全保護具を必ず着用し、無理せず作業を再開しましょう。

夏の間は、常に気を抜かずに、熱中症対策を心掛けましょう



当センター内で

刈払機による事故が発生しました！

事故概要

発生日時	場所	事故状況
6月19日	除草作業現場	駐車場敷地内を除草作業中、誤って刈払機で石を撥ね、隣接する建屋の窓ガラスを破損させた。 事故当時、飛び石対策の飛散防護ネットは張っていなかった。
7月24日	除草作業現場	作業現場外周を除草作業中、誤って刈払機で石を撥ね、道を挟んで向かいに停めてあった車両のリアガラスを破損させた。 事故当時、飛び石対策の飛散防護ネットは張っていなかった。

ハチに注意



季節が夏になり、ハチの活動も活発になってきました。例年、「ハチの巣を発見した」や「ハチに刺された」といった連絡がちらほら聞こえ始めて来る季節です。

実際に当センターでも、除草作業や植木剪定作業等の屋外で作業している会員から、ハチの巣を見つけたので対応をお願いしたいといった連絡がたびたび入ってくるようになりました。

もし、作業中にハチの巣を発見した場合には自分で対処しようとせず、いったんその場を離れ、必ず家主や事務局に対応を確認してください。自宅等で発見した場合には消防署や専門業者に相談してください。

仮に、自分で対処し刺されてしまった場合、最悪命に係わる危険性があります。特にスズメバチなど大型のハチには注意が必要です。



ハチに刺されないために

- 巣を見つけた場合は静かに後ずさりして巣から離れる。(ハチは横への動きに反応しやすいので、手で払ったり、急に向きを変えるなどの動きは大変危険です。)
- スズメバチは濃い色(特に黒)に反応しやすいので黒い服などは避ける。(もちろん黒い髪にも反応するので、帽子・ヘルメット等で頭を隠すと効果的です。)
- ヘアスプレー・香水等の化粧品の匂いや光るものはハチを刺激するので身につけないようにする。
- もしハチが近寄ってきた場合、追い払ったりせず、頭を隠して低い姿勢でハチが飛び去るのを待つ。

刺されてしまったら

- まずは、その場をゆっくり立ち去り、安全な場所に移動する。(スズメバチは時速30~40キロで移動するので、速く逃げようとしても余計に刺激して刺されるだけなので注意)
- 針が残っている場合は取り除き、傷口でハチの毒を洗い流す。(ハチの毒は水に溶けやすいので、出来るだけ毒を絞り出して洗い流しましょう)
 - ※ 口で毒を吸い出すと、口内の傷から毒が入り込むので注意しましょう。
- 濡れたタオルや氷、保冷剤などで患部を冷やし安静にして、必要に応じて医療機関を受診しましょう。